

## 魚津市国民健康保険の現状

### 【国保被保険者の医療費推移】

年 度	一人当たり医療費	県平均	被保険者数
H26	382,067 円	359,684 円	9,625 人
H27	404,973 円	375,969 円	9,191 人
H28	411,570 円	377,186 円	8,833 人
H29（見込）	419,714 円	—	8,400 人

☆医療費総額は減少傾向にあるが、一人あたりはかなり増加傾向

☆医療費の増加→被保険者負担の増加：国保税負担のアップ

### 【対策の 3 つの柱】

#### ①医療費の抑制（ジェネリック医薬品の利用促進）

ケース 1 高血圧症（主）隔月通院

医療費 14,590 円 自己負担 4,377 円 保険者負担 10,213 円

調剤 43,420 円 自己負担 13,026 円 保険者負担 30,394 円

ジェネリック医薬品を利用した場合

調剤 31,410 円 自己負担 9,423 円 保険者負担 21,987 円

ケース 2 糖尿病（主）毎月通院（院内処方）

医療費・調剤 9,940 円 自己負担 2,982 円 保険者負担 6,958 円

ジェネリック医薬品を利用した場合

医療費・調剤 7,330 円 自己負担 2,199 円 保険者負担 5,131 円

#### ②健康管理（個々の健康意識の高揚）

特定健康診査の受診率（40 歳以上 75 歳未満）

魚津市 県

H26 39.9% 42.1%

H27 41.6% 42.9%

H28 41.8% 43.0%

※特定健診受診により、自己の健康状態をチェック、生活習慣病（メタボ）の予防  
市から特定保健指導の実施

40、50 歳代の受診率が低いことから、現役世代からの意識高揚

#### ③重症化の予防（健康寿命の延伸）

糖尿病、高血圧、脂質異常からの重症化 → 人工透析へ移行

人工透析患者一人当たりの年間医療費 500～600 万円

国保被保険者 15 名（H29.11 現在）

※ 糖尿病等の重症化による新規透析導入患者を 0 にする。

#### ★H30 当初予算の編成方針

現行の税率等（H28 改定）では歳入欠陥による赤字予算となる。

⇒H27 年度の税率へ引き上げ、もしくはそれ以上の増税をしないと運営ができない。